



Mental Wellness ! [学生総合相談通信 45]

発行 : 平成27年7月13日 拓殖大学学生総合支援室

さあ、学期試験が始まります。準備はすすんでいますか？まずは時間割で、重複している科目がないか至急確認して下さい。また、もしも急に体調が悪くなったような場合、「診断書」にもとづき手続きすることと、「追試験」のチャンスが残されていることも調べておきましょう。
～ 「熱中症」に注意。水分補給や厚さ対策を万全に！ ～

Topic 頑張ってるのに！ なにがいけないの？！

「発達障害」か、と思い悩んでいる人もいるかもしれません。ウェブサイト『あなたの暮らしをわかりやすく 政府公報オンライン』に「発達障害って、なんだろう?」として、わかりやすく説明されています。一度検索されることをお勧めします。

ウェブサイト『あなたの暮らしをわかりやすく 政府公報オンライン』より以下引用（一部）

発達障害 (developmental disability)

理解する = 発達障害って、なんだろう？

発達障害は、脳機能の発達が関係する生まれつきの障害です。発達障害がある人は、コミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手です。また、その行動や態度は「自分勝手」とか「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。それが、親のしつけや教育の問題ではなく、脳機能の障害によるものだとして理解すれば、周囲の人の接し方も変わってくるのではないのでしょうか。

気づく = 気になる行動・反応はありませんか

社会で生きていくためには、社会性やコミュニケーションが必要となります。発達障害のある子どもは、それが苦手なため、幼稚園や小学校などの集団に入ると、さまざまな問題や困難に直面することになります。障害が理解され、適切なサポートがされないと、学校に行くことがストレスとなり、不登校や引きこもりなどの二次障害につながる場合もあります。(略) 社会に適應する力を身につけながら、自分らしく成長できるようにするためには、発達障害に早く気づき、適切な療育につながる事が重要です。

配慮する = 発達障害の人に接するとき

発達障害があるといっても、障害の種類や程度によっても違いますし、年齢や性格などによっても、一人一人現れ方は違います。生活の中で困難なこと、苦難なことも一人一人違います。そのため、一人一人の特徴に応じて配慮したり、支援したりしていくことが重要です。

相談する = 適切な教育につなげるために

発達障害がある場合、早めに障害に気づき、適切な療育につなぐことで、社会に適應する能力を身につけ、さまざまな能力を伸ばしていくことができます。もし、「うちの子は発達障害なのだろうか」など、気になることがあるときは、お住まいの市町村の窓口や「発達障害者支援センター」にご相談ください。発達障害者支援センターでは、発達障害者の日常生活についての相談支援などを行っているほか、医療、保健、福祉、教育、労働等の各関係機関と連携を図りながら、障害の特性とライフステージに合わせた支援を提供しています。そのほか、「発達障害情報・支援センター」「発達障害教育情報センター」でも、発達障害のある人やその家族、支援者のための、さまざまな情報を提供しています。

大学生活に対する不安や悩みなどがありましたら是非一度、総合支援窓口である学生総合支援室へ来室して下さい。随時、専門職である学生主事が相談に応じます。

八王子国際キャンパス 文京キャンパス 月～金 9:00～17:00	管理研究棟1階 C館2階	八王子学生総合支援室 学生総合支援室 土 9:00～15:00	{ 学生主事3名 } { 学生主事5名 }
---	-----------------	---------------------------------------	--------------------------

各種相談日のご案内【7月】

心の健康相談日 - 専門医が来校し、心の健康に係わる不安や悩み等への医学的対処法を直接アドバイスしています。

[文京キャンパス] 17日(金) 14:30～17:00

[予約制] 相談希望者は、何れかのキャンパス「学生総合支援室」で事前に予約して下さい。

次回発行予定 平成27年8月3日(月)